

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	総合演習Ⅲ	
コース名	システム開発コース			担当者	小関	
学 年	2年			教科番号	2A01	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	選択	
	△	○				
授業概要	基本情報技術者試験に合格するために、問題演習や解説などの受験対策を行なう 卒業までに基本情報技術者の合格、10月実施の応用情報技術者に向けた検定対策を行なう					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアなどのテクニカル分野の知識を理解している。 ・情報戦略などのマネジメントとストラテジ分野の知識を理解している。 ・応用情報午後問題に出題される、セキュリティやアルゴリズムを理解している。 					
教材名	過去問題 模擬試験など					
資格の 取得目標	2年次の基本情報技術者試験・応用情報技術者合格を目標とする。					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして国家試験対策を行う (5タームに実施)					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の得点を試験の一部として評価に含める。 ・本試験の合格は、加点評価する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	20%	0%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
2	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
3	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
4	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
5	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
6	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
7	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
8	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
9	応用情報技術者試験 午前問題演習
10	応用情報技術者試験 午前問題演習
11	応用情報技術者試験 午前問題演習
12	応用情報技術者試験 午前問題演習
13	応用情報技術者試験 午後問題演習
14	応用情報技術者試験 午後問題演習
15	応用情報技術者試験 午後問題演習
16	応用情報技術者試験 午後問題演習

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	システム関連技術Ⅱ	
コース名	システム開発コース			担当者	小関	
学 年	2年			教科番号	2A02	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	Webサービスの実現に欠かせないサーバをはじめとしたインフラ環境構築やエンジニアの業務を効率化するサービスの活用などに関する理解を講義と実習を通じて学習する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョン管理システムを利用することができる。 ・クラウドサービスの利用方法について理解できる。 ・Dockerの活用方法について理解できる。 ・簡単なWebAPIを作成することができる。 					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かしてUNIX,サーバ,ストレージ,仮想化,シェル,ネットワークコマンド,セキュリティについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の理解度をはかるため期末テストを実施し、それも評価に含める。 ・課題進捗状況を確認し、進捗具合を評価に含める。 ・スマートフォンなどの使用は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	50%	30%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	イントロダクション システム開発を取り巻く環境 開発効率化の取り組み
2	バージョン管理システム GitHubの活用について
3	バージョン管理システム GitとGitHubの連携
4	Dockerを使用したコンテナの仕組み
5	Docker環境構築
6	Dockerを使用した開発環境の構築
7	Dockerfileの作成
8	Docker利用に関する課題
9	WebAPI概要・作成
10	WebAPI作成
11	WebAPI作成課題
12	WebAPI作成課題
13	期末課題
14	期末課題
15	期末課題
16	期末課題

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	次世代テクノロジー研究		
コース名	システム開発コース			担当者	小関/佐藤ヤ		
学 年	2年			教科番号	2A03	単位数	6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修		
	△		○				
授業概要	近年話題となっているIT業界のトレンドを自ら調査・研究する。研究した技術を使用し、グループワークで企画・開発を行ない、文化祭で展示する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭来場者視点で楽しんでもらえる企画を立案することができる。 ・グループで協力しながら開発し、期限内に完成することができる。 						
教材名							
資格の 取得目標							
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして最新のデバイスを活用したプログラミング技術の研究について授業を行う						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中でのスマートフォンの使用は禁止する。 ・グループでの役割や貢献度、作品の完成度を評価する。 ・生成AIは、プログラミングの補助のみ使用を許可する。 						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	35%	35%	30%	0%	100%	

回数	講義内容
1	授業概要説明 研究グループ決め
2	IT業界最新トレンドの調査
3	企画立案
4	企画立案
5	企画書作成
6	企画書作成
7	研究・グループ制作
8	研究・グループ制作
9	研究・グループ制作
10	研究・グループ制作
11	研究・グループ制作
12	研究・グループ制作
13	研究・グループ制作
14	研究・グループ制作
15	研究・グループ制作
16	研究・グループ制作
17	研究・グループ制作
18	研究・グループ制作
19	研究・グループ制作
20	研究・グループ制作
21	研究・グループ制作
22	研究・グループ制作
23	研究・グループ制作
24	研究・グループ制作
25	研究・グループ制作

回数	講義内容
26	研究・グループ制作
27	研究・グループ制作
28	研究・グループ制作
29	研究・グループ制作
30	研究・グループ制作
31	研究・グループ制作
32	研究・グループ制作
33	研究・グループ制作
34	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
35	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
36	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
37	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
38	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
39	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
40	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成 展示作品完成
41	楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成、作品展示に向けての動作確認
42	楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成、作品展示に向けての動作確認
43	最終提出版作品作成
44	最終提出版作品作成
45	最終提出版作品作成
46	最終提出版ドキュメント作成
47	最終提出版ドキュメント作成
48	最終提出版ドキュメント作成

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	モバイルアプリ研究	
コース名	システム開発コース			担当者	柿沼	
学 年	2年			教科番号	2A04	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	JavaScriptを活用したフロントエンドの開発手法の学習を行なう。クロスプラットフォーム開発ができる技術を習得する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ HTMLを使用し、Webページが作成できる。 ・ CSSを使用し、Webページに装飾ができる。 ・ JavaScriptを使用し、Webページに動きを付けることができる。 ・ Vue.jsを使用し、モバイルアプリの開発ができるようになる。 					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	独立系SI企業で勤務経験のある教員がその経験を生かして、JavaScriptを用いたモバイル向けクロスプラットフォーム開発について授業を行う					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション HTML CSS JavaScriptの役割 開発環境構築
2	HTML HTML基礎
3	HTML リンクの設定と画像挿入
4	HTML フォームの設定
5	課題演習
6	CSS CSS基礎
7	CSS プロパティ 疑似クラス
8	CSS 表作成 レイアウト
9	レスポンシブ対応
10	課題演習
11	オブジェクト指向のおさらい
12	JavaScript 文章表示、アラート
13	JavaScript 四則演算、変数
14	JavaScript Date型、テンプレート文字列、プロパティ
15	課題演習
16	JavaScript 分岐処理・反復処理
17	JavaScript 配列処理
18	JavaScript 関数
19	課題演習
20	JavaScript クラス定義
21	JavaScript JSONの読み取り
22	課題演習
23	JavaScript EventListener blur
24	JavaScript Timer
25	課題演習
26	JavaScript 非同期通信
27	JavaScript ローカルストレージ

回数	講義内容
28	課題演習
29	Vue.jsとは その他のJavaScriptライブラリの紹介 Vue.jsのインストール
30	Vue.js 文章表示
31	Vue.js テキスト装飾、アニメーション
32	Vue.js 分岐、反復
33	Vue.js 配列 v-on
34	Vue.js コンポーネント作成
35	Vue.js コンポーネント実践
36	Vue.js まとめ
37	課題演習
38	修了課題 題材決め
39	修了課題 題材決め
40	修了課題
41	修了課題
42	修了課題
43	修了課題
44	修了課題
45	修了課題
46	修了課題
47	修了課題
48	修了課題

令和6年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	システム構築	
コース名	システム開発コース			担当者	正田	
学 年	2年			教科番号	2A05	単位数 12.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	VisualC#のプログラミング技術を修得し、SQLServerのデータベースを用いたASP.NET Webアプリケーション開発技法を学習する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ VisualC#の基本的なプログラミングができる。 ・ Microsoft.NET Frameworkの利用技術を理解している。 ・ ASP.NETおよびADO.NETの基本的なプログラミングができる。 ・ 基本的なWebアプリケーションを作成する事ができる。 ・ データベースサーバの基本操作を理解している。 					
教材名	ASP.NETの基礎（プリント）、オンラインショッピングの開発（プリント）					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かしてWebアプリケーション開発、C#.net、ASP.net、SQLServerについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中はWeb等の技術情報を積極的に参照し、かつお互いに教えあう。 ・ Webアプリケーション制作に関する知識試験により評価する。 ・ 前期及び後期のWebアプリケーション制作課題により評価する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	40%	10%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	1. Webアプリケーションとは
2	Webアプリケーションとは ネイティブアプリとの違い サーバーサイド技術とクライアントサイド技術 .NET Frameworkの概要を理解する。ASP.NETの概要 プロジェクトの作成
3	2. コードビハインド イベントハンドラの生成
4	3. ポストバック
5	ポストバックの概念 Page_Loadイベント ページインスタンスの破棄と再生成 ページロード時のポストバック判定
6	ポストバックの概念 Page_Loadイベント ページインスタンスの破棄と再生成 ページロード時のポストバック判定
7	4. 入力検証コントロール
8	4. 入力検証コントロール
9	4. 入力検証コントロール
10	5. 画面遷移と状態管理
11	5. 画面遷移と状態管理
12	6. デバッグ
13	7. ADO.NETによるデータアクセス
14	SQL Server GUI管理ツールの設定 Windowsファイアウォールの設定 Windowsサービスの設定 SQL Server 環境設定ツールの設定 アプリケーションの開発 Webサイトの発行
15	SQL Server GUI管理ツールの設定 Windowsファイアウォールの設定 Windowsサービスの設定 SQL Server 環境設定ツールの設定 アプリケーションの開発 Webサイトの発行
16	SQL Server GUI管理ツールの設定 Windowsファイアウォールの設定 Windowsサービスの設定 SQL Server 環境設定ツールの設定 アプリケーションの開発 Webサイトの発行
17	8. データバインド
18	SQLDataSourceの作成 データの登録機能の実装 カスタムデータバインド TemplateField列を使用した値の取得とレコードの更新 ButtonField列を使用した値の取得とレコードの更新
19	SQLDataSourceの作成 データの登録機能の実装 カスタムデータバインド TemplateField列を使用した値の取得とレコードの更新 ButtonField列を使用した値の取得とレコードの更新
20	SQLDataSourceの作成 データの登録機能の実装 カスタムデータバインド TemplateField列を使用した値の取得とレコードの更新 ButtonField列を使用した値の取得とレコードの更新
21	SQLDataSourceの作成 データの登録機能の実装 カスタムデータバインド TemplateField列を使用した値の取得とレコードの更新 ButtonField列を使用した値の取得とレコードの更新
22	03.データベースの更新①

回数	講義内容
23	03.データベースの更新①
24	03.データベースの更新①
25	9. ドロップダウンリストの作成
26	9. ドロップダウンリストの作成
27	9. ドロップダウンリストの作成
28	9. ドロップダウンリストの作成
29	10. DataViewクラスとDataTableクラス
30	10. DataViewクラスとDataTableクラス
31	10. DataViewクラスとDataTableクラス
32	10. DataViewクラスとDataTableクラス
33	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
34	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
35	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
36	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
37	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
38	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
39	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
40	11. 例外処理 (Try~Catch)
41	11. 例外処理 (Try~Catch)
42	12. 値の丸め
43	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。
44	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。
45	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。
46	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。

回数	講義内容
47	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。
48	前期終了 課題の提出とチェック
49	13. 同時実行制御
50	13. 同時実行制御
51	14. スタアドプロシージャ
52	14. スタアドプロシージャ
53	15. データソースコントロール
54	15. データソースコントロール
55	Webアプリケーションの開発実践 オンラインショッピングサイトの構築① マスタページの実装
56	Webアプリケーションの開発実践 オンラインショッピングサイトの構築① マスタページの実装
57	オンラインショッピングサイトの構築② 商品一覧の表示
58	オンラインショッピングサイトの構築② 商品一覧の表示
59	オンラインショッピングサイトの構築② 商品一覧の表示
60	オンラインショッピングサイトの構築③ データベースへの書き込み
61	オンラインショッピングサイトの構築③ データベースへの書き込み
62	オンラインショッピングサイトの構築③ データベースへの書き込み
63	オンラインショッピングサイトの構築③ データベースへの書き込み
64	オンラインショッピングサイトの構築④ データベースからの取り出しと更新
65	オンラインショッピングサイトの構築④ データベースからの取り出しと更新
66	オンラインショッピングサイトの構築④ データベースからの取り出しと更新
67	オンラインショッピングサイトの構築④ データベースからの取り出しと更新
68	オンラインショッピングサイトの構築⑤ マスターページへのサマリー表示
69	オンラインショッピングサイトの構築⑤ マスターページへのサマリー表示
70	オンラインショッピングサイトの構築⑤ マスターページへのサマリー表示
71	オンラインショッピングサイトの構築⑥ 顧客情報の管理 会員情報の登録とログイン機能

回数	講義内容
72	オンラインショッピングサイトの構築⑥ 顧客情報の管理 会員情報の登録とログイン機能
73	オンラインショッピングサイトの構築⑥ 顧客情報の管理 会員情報の登録とログイン機能
74	オンラインショッピングサイトの構築⑥ 顧客情報の管理 会員情報の登録とログイン機能
75	オンラインショッピングサイトの構築⑦ 会計決裁機能の実装
76	オンラインショッピングサイトの構築⑦ 会計決裁機能の実装
77	オンラインショッピングサイトの構築⑦ 会計決裁機能の実装
78	オンラインショッピングサイトの構築⑦ 会計決裁機能の実装
79	オンラインショッピングサイトの構築⑧ 商品登録機能の実装
80	オンラインショッピングサイトの構築⑧ 商品登録機能の実装
81	オンラインショッピングサイトの構築⑧ 商品登録機能の実装
82	オンラインショッピングサイトの構築⑧ 商品登録機能の実装
83	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
84	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
85	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
86	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
87	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
88	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
89	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
90	オンラインショッピングサイトの構築⑩ 顧客別商品別売上集計機能の実装
91	オンラインショッピングサイトの構築⑩ 顧客別商品別売上集計機能の実装
92	オンラインショッピングサイトの構築⑩ 顧客別商品別売上集計機能の実装
93	ショッピングサイトの構築⑪ ストアドリプロシーダを利用した Web サイト の作成
94	ショッピングサイトの構築⑪ ストアドリプロシーダを利用した Web サイト の作成
95	ショッピングサイトの構築⑪ ストアドリプロシーダを利用した Web サイト の作成
96	ショッピングサイトの構築⑪ ストアドリプロシーダを利用した Web サイト の作成

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	アプリケーション実習	
コース名	システム開発コース			担当者	須永	
学 年	2年			教科番号	2A06	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	アプリケーションソフトのWORD,EXCELの初級技術を身につけるために、講義・問題演習を繰り返しながら学ぶ。					
到達目標	<p>①Microsoft Excelを用いてビジネス社会における簡単なワークシートの作成とデータの入力を行うことができる。</p> <p>②パソコン、表計算、ビジネス図表に関する基礎的な技能を修得する。</p>					
教材名	30時間でマスター office2019／実教出版 プリント					
資格の 取得目標	サーティファイ EXCEL表計算技能認定試験3級以上					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	Officeソフトを業務で活用した経験のある教員がアプリケーションの基礎から応用まで授業を行う。					
履修に あたっての 留意点	<p>①提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。</p> <p>②スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、eラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	50%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	WORD対策：表を活用した文書、スタイル定義、段組)
2	WORD対策：表を活用した文書、スタイル定義、段組)
3	WORD対策(ビジュアルな文章の作成、 図形描画、 色の変更、テキストボックス)
4	WORD対策(ビジュアルな文章の作成、 図形描画、 色の変更、テキストボックス)
5	WORD対策(他のソフトの利用、 イラストの挿入、 イラストの移動)
6	WORD対策(他のソフトの利用、 イラストの挿入、 イラストの移動)
7	EXCEL対策(関数と計算、 論理関数(IF+IF))
8	EXCEL対策(関数と計算、 論理関数(IF+IF))
9	EXCEL対策(関数と計算、 検索／行列関数(VLOOKUP、HLOOKUP))
10	EXCEL対策(関数と計算、 検索／行列関数(VLOOKUP、HLOOKUP))
11	EXCEL対策(関数と計算、情報関数、日付／時刻関数)
12	EXCEL対策(関数と計算、情報関数、日付／時刻関数)
13	EXCEL対策(データベース関数、DSUM、DAVERAGE、DCOUNT)
14	EXCEL対策(データベース関数、DSUM、DAVERAGE、DCOUNT)
15	EXCEL対策(複合グラフ、バブルチャート、3-Dグラフ)
16	EXCEL対策(複合グラフ、バブルチャート、3-Dグラフ)
17	EXCEL対策(コメントの挿入、条件付き書式、入力規則)
18	EXCEL対策(コメントの挿入、条件付き書式、入力規則)
19	EXCEL対策(検索と置換、表示形式のユーザ定義、スタイル)
20	EXCEL対策(検索と置換、表示形式のユーザ定義、スタイル)

回数	講義内容
21	EXCEL対策(リンク、OLE機能、3D集計、データの統合)
22	EXCEL対策(リンク、OLE機能、3D集計、データの統合)
23	EXCEL対策(ブック・ワークシート・セルの保護、ゴールシーク)
24	EXCEL対策(ブック・ワークシート・セルの保護、ゴールシーク)
25	EXCEL対策(マクロの記録と実行)
26	EXCEL対策(マクロの記録と実行)
27	検定問題対策
28	検定問題対策
29	検定問題対策
30	検定問題対策
31	検定問題対策
32	検定問題対策

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	プレゼンテーション技法	
コース名	システム開発コース			担当者	小関	
学 年	2年			教科番号	2A07	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聴衆の心を掴むプレゼンテーションの基礎知識を学ぶ ・ プレゼンテーションソフトの活用方法を学ぶ ・ 卒業研究発表会に向けて、プレゼンテーションを作成する。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Office Power Pointの基本的なスライドが作成できる。 ・ プレゼンテーションにおける配布用資料の作成ができる。 ・ 目的を達成するために、わかりやすく効果的なプレゼンができる。 					
教材名						
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かしてコミュニケーション技法、PowerPointについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人プレゼンテーションを行ない、発表内容とスライドを評価する。 ・ 卒業研究発表会の為のプレゼン内容を評価する。 ・ プレゼンは提出物として評価する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	60%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	プレゼンテーションの基礎
2	PowerPointの基本操作(実習) ・作業ウィンドウ ・メニュー/ボタン ・文字の修飾 ・スライドの追加、削除、デザインの設定
3	PowerPointの基本操作(実習) ・レイアウトの変更 ・アニメーション効果 ・テーマの変更 ・スライドショーの設定 ・スライドマスター
4	効果的な発表方法についての学習 ・スライドの構成、流れ、統一感、発表時間、声や動作、姿勢など。テーマを設定しプレゼンテーション作成
5	個人制作 アニメーションなどの効果を活用したプレゼンスライドの作成
6	個人制作 アニメーションなどの効果を活用したプレゼンスライドの作成
7	個人発表
8	個人発表
9	卒業研究発表準備
10	卒業研究発表準備
11	卒業研究発表準備
12	卒業研究発表準備
13	卒業研究発表準備
14	卒業研究発表準備
15	卒業研究発表準備
16	配布資料の作成

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	卒業研究	
コース名	システム開発コース			担当者	小関/柿沼/須永	
学 年	2年			教科番号	2A08	単位数 14.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	2年間の総合的な学習成果として、グループで作品をつくる					
到達目標	<p>①卒業研究の意義に基づいて立案した企画が、指導担当教員の承認を得ることができる</p> <p>②自ら立てたスケジュールに基づき、作業を遂行し記録することができる</p> <p>③グループで定めた完成目標に基づき、修得した知識・技能や自主的な調査・研究を行い、作品という形で具現化できる</p>					
教材名	なし					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして卒業研究グループ制作を行う					
履修に あたっての 留意点	<p>・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。</p> <p>・授業態度の項目は、授業の終期に個人及びグループ総括を行い、作品及びグループへの貢献度も評価対象とする。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	35%	35%	20%	10%	100%

回数	講義内容
1	卒業研究の意義、卒業研究授業スケジュール管理について、提出フォルダ構成の説明
2	テーマ検討・決定、グループ編成、
3	テーマ検討・決定、グループ編成、
4	テーマ検討・決定、グループ編成、
5	テーマ検討・決定、グループ編成、
6	テーマ検討・決定、グループ編成、
7	テーマ検討・決定、グループ編成、
8	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
9	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
10	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
11	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
12	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
13	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
14	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
15	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
16	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
17	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
18	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
19	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
20	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)
21	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)
22	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
23	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
24	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
25	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
26	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
27	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
28	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
29	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
30	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
31	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
32	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
33	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
34	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
35	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
36	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
37	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
38	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
39	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
40	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
41	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
42	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
43	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
44	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
45	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
46	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
47	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
48	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
49	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
50	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
51	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
52	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
53	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
54	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
55	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
56	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
57	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
58	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
59	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
60	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
61	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
62	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
63	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
64	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
65	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
66	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
67	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
68	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
69	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
70	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
71	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
72	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
73	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
74	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
75	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出

回数	講義内容
76	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
77	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
78	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
79	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
80	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
81	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
82	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
83	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
84	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
85	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
86	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
87	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
88	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
89	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
90	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
91	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
92	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
93	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
94	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
95	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
96	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
97	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
98	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
99	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
100	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
101	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
102	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
103	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備

回数	講義内容
104	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
105	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
106	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
107	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
108	卒業研究総括
109	卒業研究総括
110	卒業研究総括
111	卒業研究総括
112	卒業研究総括

令和6年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	キャリアデザインⅡ	
コース名	システム開発コース			担当者	小関/坪井	
学 年	2年			教科番号	2A09	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○	△				
授業概要	キャリア教育を通じて、職業人として必要な責任感、誠実さ、協調性、柔軟性、倫理観を持ち、社会的・職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を学び、修得する。そのために、実践行動学プログラムや、アサーショントレーニングなど複合的に学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①学ぶこと、働くことの意義、多様性を理解する。 ②実践行動学や自己ブランディングや外部・内部講演などを通じて、自己理解が出来る。 ③自己の適性に合わせた内定先を見つけ、積極的な就職活動を行う。 ④規律ある学生生活を送る。 ⑤行事の意義を理解し、積極的に役割を持ち、参加する。 					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・夢実現のための実践行動学／実践行動学研究所出版 ・ザ・コミュニケーション ・授業配布プリント 					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務 経験の関連 性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして就職活動に必要な履歴書作成や面接練習等、就職指導を行う					
履修に あたっての 留意点	<ol style="list-style-type: none"> ①行事の出席・取り組み状況も評価の中にも含める。 ②提出物の項目は、完成度だけでなく、提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ③授業とは関係のないものの使用は不可とする。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション、各種委員選出
2	2_就職活動について
3	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア1
4	就職活動指導
5	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア2
6	適職開発室講義(自己分析と職業選択)
7	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア3
8	校長先生講義(就職活動選考時の心構えと行動について)
9	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア4
10	就職部講義(人事担当からみた今年の学生の情報)
11	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア5
12	就職活動基礎知識の復習
13	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
14	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
15	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
16	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
17	就職活動指導(クラス内情報交換)
18	就職活動指導(クラス内情報交換)
19	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
20	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
21	就職活動指導(面接指導)
22	就職活動指導(面接指導)
23	就職活動指導(面接指導)
24	就職活動指導(面接指導)
25	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備

回数	講義内容
26	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
27	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
28	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
29	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
30	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
31	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
32	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
33	特別講演(9月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
34	ザ・コミュニケーション概要 スキル1
35	ザ・コミュニケーション スキル2
36	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
37	特別講演(10月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
38	ザ・コミュニケーション スキル3
39	ザ・コミュニケーション スキル4
40	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
41	特別講演(11月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
42	ザ・コミュニケーション スキル5
43	ザ・コミュニケーション スキル6
44	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
45	特別講演(1月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
46	ザ・コミュニケーション スキル7
47	ザ・コミュニケーション スキル8
48	ザ・コミュニケーション スキル9

令和6年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	企業実習	
コース名	システム開発コース			担当者		
学 年	2年			教科番号	2A10	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		選択
			○			
授業概要	企業や病院でのインターンシップ					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業や病院の業務を直接体験することによって、基本姿勢を学ぶ。 2. 自分から積極的に挨拶ができるようになる。 3. 社会人として通用する立ち振る舞いを学ぶ。 4. 社会人として恥ずかしくない言葉遣いができる。 5. 自ら報告・連絡・相談ができるようにする。 6. 就職活動を真摯に行う心構えをつくる。 					
教材名	補助プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	企業で実務を行っている社員が経験を活かして実習を行う					
履修に あたっての 留意点	事前事後指導も評価に含める 提出期限を厳守					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	30%	20%	30%	20%	100%

回数	講義内容
1	事前学習：1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
2	事前学習：1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
3	実習
4	実習
5	実習
6	実習
7	実習
8	実習
9	実習
10	実習
11	実習
12	実習
13	実習
14	実習
15	事後実習：1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出
16	事後実習：1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出

令和5年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	課題研究	
コース名	システム開発コース			担当者		
学 年	2年			教科番号	2A11	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		選択
	○					
授業概要	各コースの実施内容やカリキュラムポリシーに則した課題を学生が設定し、調査・研究を行う。					
到達目標	学生が設定した課題の完成目標に基づき、自主的な調査・研究を行い、担当教員が指示した形式（作品、文書、レポート等）にまとめることができる。□					
教材名	無し□					
資格の 取得目標	研究内容により決定する□					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	課題研究のテーマについては、学生自身の自己研鑽、各学科・コースの学びに繋がる内容で、かつ主体的に行うこと。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	80%	0%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	課題研究のテーマと目標設定を行う
2	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
3	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
4	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
5	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
6	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
7	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
8	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
9	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
10	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
11	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
12	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
13	まとめ
14	まとめ
15	まとめ
16	まとめ